

平成29年4月 新たに2つの診療所がオープン！

H29.4.1 診療開始

津市応急クリニック

H29.4.3 診療開始

津市家庭医療クリニック



平成29年3月1日

これまでの経緯

津市応急クリニック

平成19年11月1日 津市夜間成人応急診療所を津リージョンプラザ内に暫定的に開設

初期救急医療体制の充実に向け、設備の整った恒久施設としての整備計画立案

平成25年4月23日 津市応急診療所整備検討会を設置

平成25年9月19日 津市応急診療所整備検討会座長から
「新たな応急診療所開設に関する提言書」が提出

提言書を踏まえ、津地区医師会、久居一志地区医師会及び津薬剤師会と
基本設計、実施設計、開設後の運営内容等について協議

平成26年度に基本設計、平成27年度に実施設計を実施

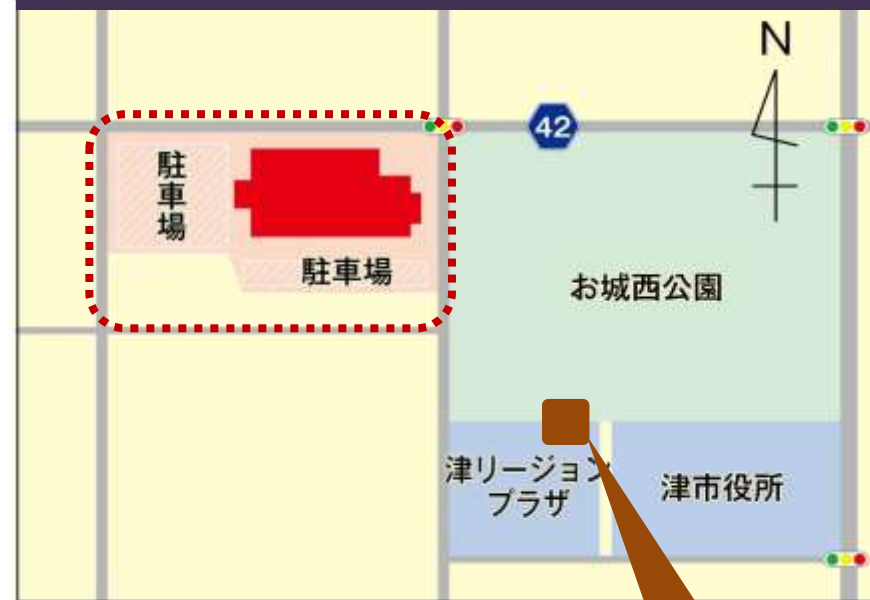
平成28年3月28日に建設工事に着工、平成29年1月26日に完成

配置図

津市応急クリニック



津市応急クリニック開設場所
津市西丸之内37番8号



現在の津市夜間成人応急診療所

工事費 6億6,600万円 (津市応急クリニック及び教育委員会庁舎の工事費)

備品費等 約800万円

現在、津リージョンプラザ1階にある津市夜間成人応急診療所をお城西公園の西隣に、津市応急クリニックとしてオープン

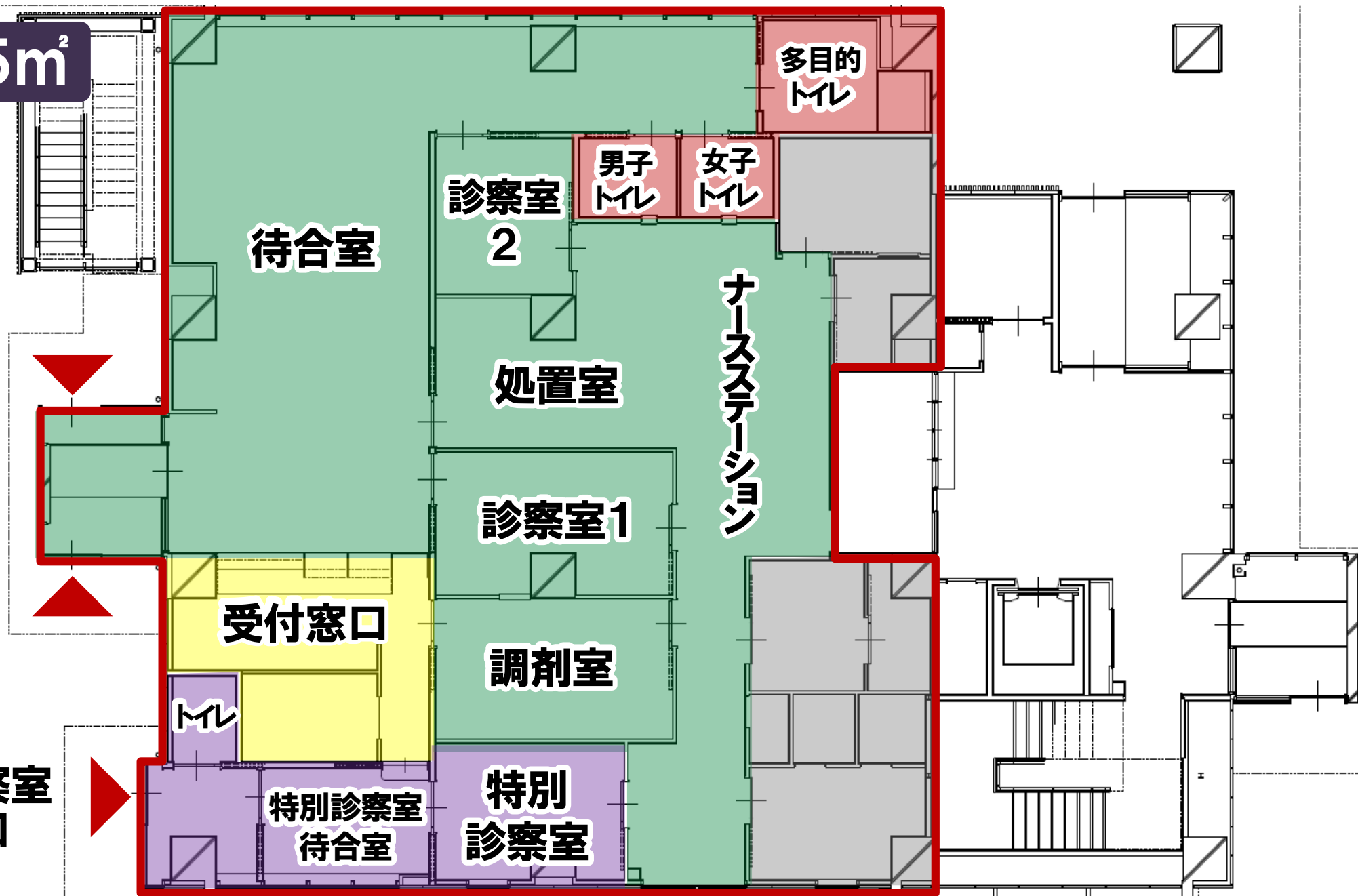
全体レイアウト

津市応急クリニック

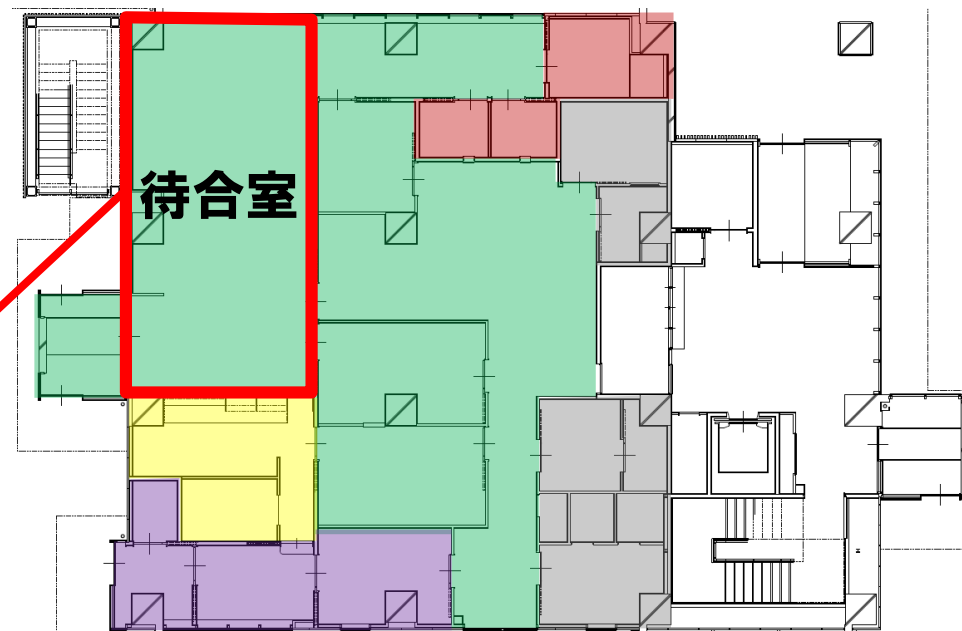
面積: 285m²

応急クリニック
出入口

特別診察室
出入口



受診される方がゆったりとお待ちいただけるよう、
また年末年始などの繁忙期にも対応できるよう
十分なスペースの待合室を設置



- 診察室を2室設置
- 現在の津市夜間成人応急診療所では実施していない輸液処置や心電図検査等が可能となるよう処置室を1室設置



診察室1



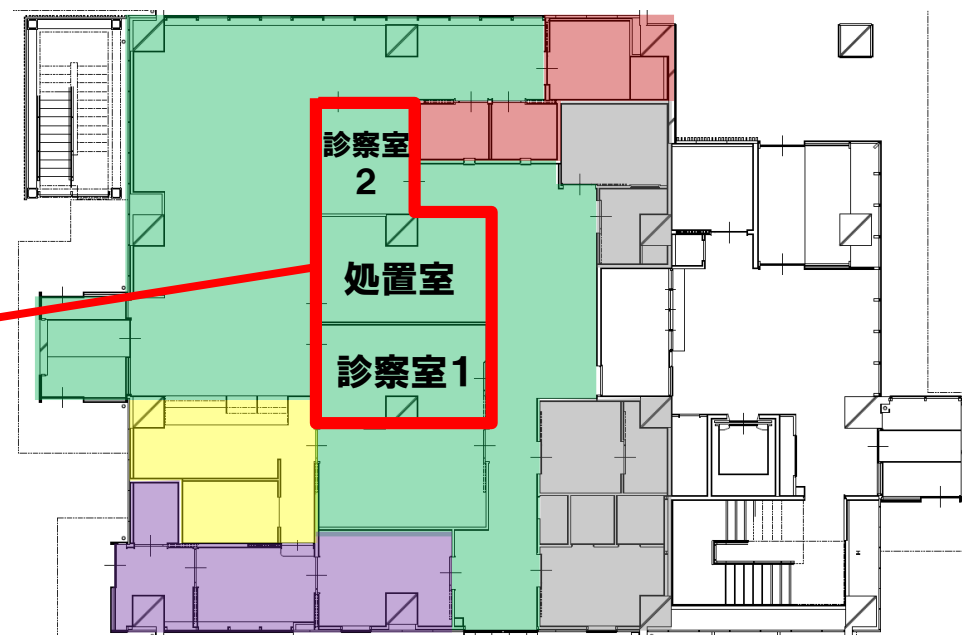
診察室2



処置室



処置室



- 感染症の流行期や新型インフルエンザ等にも対応できるように特別診察室を設置
- 感染予防のため、出入口、待合室、トイレを一般患者とは別に配置



専用入口



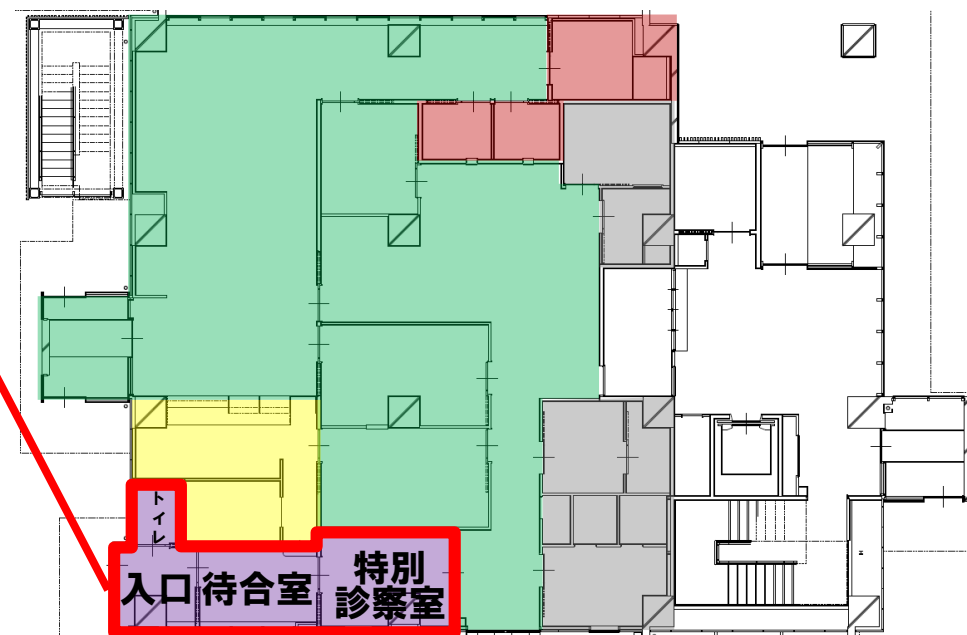
専用待合室



専用受付



特別診察室



津地区医師会、久居一志地区医師会、津薬剤師会等の協力を得て、これまで津市夜間成人応急診療所で行ってきた毎夜間の診療に加え、日曜日、祝・休日、年末年始の昼間も診療を実施

診療科目	診療日	受付診療時間
内科 おおむね 16歳以上 の人が対象	月曜日～土曜日	19時30分～23時
	日曜日、祝・休日	10時～12時 13時～16時
	年末年始 (12月31日～1月3日)	19時30分～23時

※16歳未満の人は「津市こども応急クリニック」をご利用ください

何がどう変わる？

津市応急クリニック

津市夜間成人応急診療所

面積	68m ²
診療機能	診察室1室
検査	尿検査、 インフルエンザ検査
診療日	毎夜間
看護師	委託
駐車場	津リージョンプラザ北側通路 を駐車スペースとして使用

津市応急クリニック

面積	285m ²
診療機能	診察室2室、処置室、 特別診察室
検査	尿検査、インフルエンザ検査、 心電図検査、血糖検査
診療日	毎夜間、日曜日・祝日・ 休日・年末年始の昼間
看護師	正規職員
駐車場	一般駐車スペース 11台 おもいやり駐車スペース 2台

平成29年度当初予算計上額

津市応急クリニック

歳入

応急クリニック使用料

38,480千円

歳出

医薬材料費

5,588千円

施設等維持管理業務委託料

1,331千円

医科委託料

40,157千円

機器借上料

1,094千円

その他

708千円

合計

48,878千円

開催日

平成29年3月19日(日曜日)

開設式典

時間 10時～10時45分

場所 教育委員会庁舎4階 教育委員会室

開設式典終了後に、内覧会を実施予定

施設
一般公開

時間 13時30分～16時30分

対象者 どなたでも

駐車場 本庁舎一般駐車場をご利用ください

津市の応急診療所

津市応急クリニック



津市こども応急クリニック・休日デンタルクリニック

診療科目	診療日	受付診療時間
小児科 ※小児科はおおむね 16歳未満の人を 対象	月曜日～土曜日	19時30分～23時
	日曜日、祝・休日	10時～12時 13時～16時
	年末年始 (12月31日～1月3日)	19時30分～23時
歯科 ※デンタルクリニックとは 歯科診療所のこと	祝・休日 (1月1日・日曜日と重なる日を除く)	10時～12時
	1月2日	
	12月31日	10時～12時 13時～16時

津市久居休日応急診療所

診療科目	診療日	受付診療時間
内科	日曜日、祝・休日	10時～12時 13時～16時
	年末年始 (12月30日～1月3日)	

平成27年4月

美杉地域の持続可能な地域医療の確保を図るため、美杉地域の地域医療を考える場として、美杉地域医療在り方検討会を設置

平成27年9月29日

美杉地域医療在り方検討会から「美杉地域医療の在り方に関するまとめ」が提出

平成28年3月1日

美杉地域の7地区の自治会連合会長が連名で、まとめに基づく医療体制の早期実現に向けた要望書が提出

三重県病院事業庁、県立一志病院及び三重大学医学部と協議を行い医師を確保

地域医療の拠点として八幡地区の奥津に新たに診療所を設けるとともに、伊勢地地区への巡回診療と竹原診療所への医師派遣の方針を決定

津市の国民健康保険診療所として、竹原診療所に続いて2カ所目の開設

開設場所①

津市家庭医療クリニック

美杉地域医療の在り方 に関するまとめ

「美杉地域全体を担うことができる中心的な位置で、公共交通の結節点など通院しやすい場所に整備」との提言

JR名松線伊勢奥津駅周辺で、「津市美杉高齢者生活福祉センター」内へ開設を決定



開設場所②

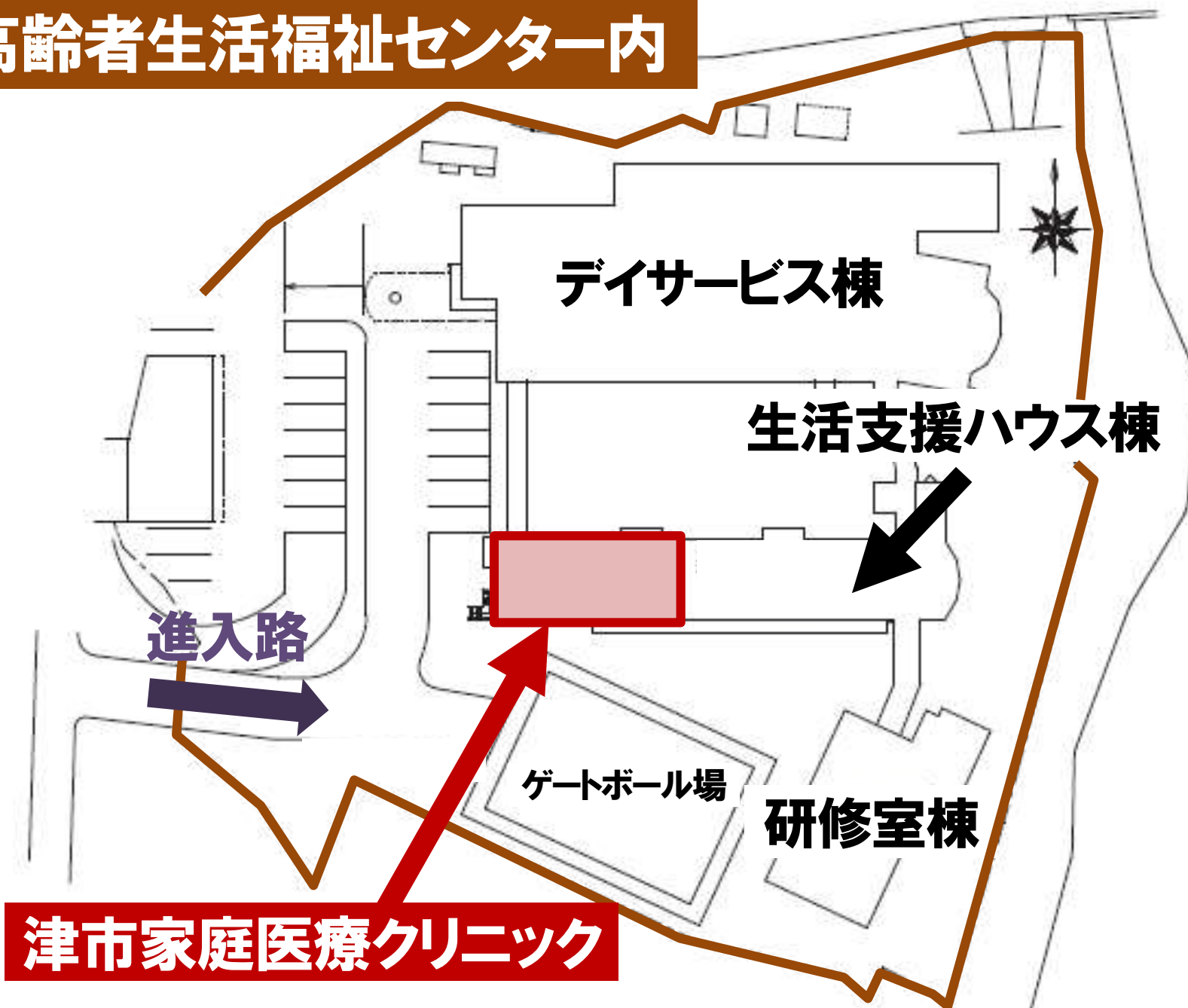
津市家庭医療クリニック



津市家庭医療クリニック
美杉町奥津929番地

津市美杉高齢者生活福祉センター内

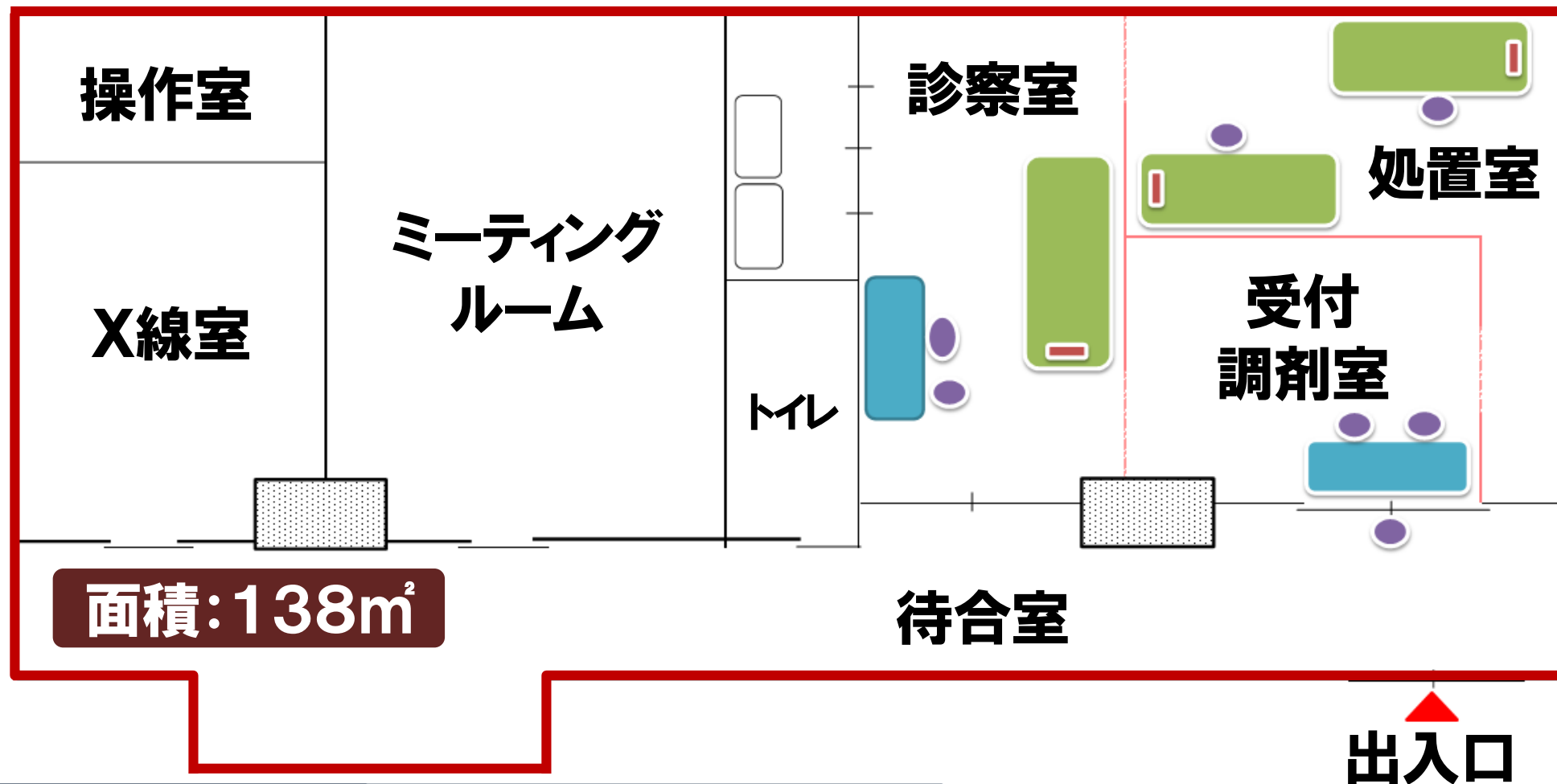
津市美杉高齢者生活福祉センター内



津市家庭医療クリニック

レイアウト

津市家庭医療クリニック(津市美杉高齢者生活福祉センター内)



整備費

約2,750万円

主な医療機器

一般X線撮影装置、超音波診断装置、多機能心電計、血圧計、パルスオキシメーター、耳鏡・検眼鏡など

- 家庭医療専門医の資格を有する医師(鶴田真三医師)による赤ちゃんからお年寄りまで、すべての世代の皆さんの健康問題に幅広く対応
- 退院後のケアが必要な方などへの訪問診療を実施
- 伊勢地地域住民センターへの巡回診療を実施



鶴田真三医師

診療科目	診療日	受付診療時間
内科、外科、小児科、心療内科	月曜日～木曜日	8時30分～11時30分
訪問診療	月曜日・木曜日	13時～16時

巡回診療 伊勢地地域住民センター(美杉町石名原)

診療科目	診療日	受付診療時間
内科、外科、小児科、心療内科	水曜日	13時～16時

国民健康保険事業特別会計(直営診療施設勘定)

歳入・歳出総額

51,097千円

主な歳入

診療収入

28,950千円

繰入金

21,809千円

主な歳出

医師委託料

25,460千円

薬品費

12,000千円

開催日

平成29年4月2日(日曜日)

開設式典

時間

13時～13時40分

場所

**津市美杉高齢者生活福祉センター
研修室棟内**

**施設
一般公開**

時間

13時45分～14時30分

対象者

どなたでも

平成29年4月1日 三重県内初の義務教育学校設置

みさとの丘学園 平成29年4月6日開校

～特色ある教育の取り組み & 登下校体験・スクールバスのお披露目式～



平成29年3月1日

義務教育学校設置の経緯

学校教育法の一部改正（平成28年4月1日施行）

現行の小学校、中学校に加えて、小学校から中学校までの義務教育を一貫して行う、いわゆる新たな学校の種類として「義務教育学校」が制度化

美里地域の長野小学校・高宮小学校・辰水小学校・
美里中学校（3小学校・1中学校）

再編

現在の美里中学校施設を活用した義務教育学校を設置

前期課程（1年～6年）
小学校に相当する6年

+

後期課程（7年～9年）
中学校に相当する3年

義務教育学校「津市立みさとの丘学園」の概要

名称

津市立みさとの丘学園

所在地

美里町三郷84番地（現 美里中学校）

面積

敷地 28,314m²（新設予定のプール敷地除く）
建物 5,190m²（鉄筋コンクリート造【一部木造】）

児童生徒数
見込み

前期課程（小学校） 204人
後期課程（中学校） 86人 合計290人

H29.4開校時

総事業費

8億9,936万円

学校施設環境改善交付金及び合併特例事業債を活用

義務教育学校の特徴

前期課程(小学校課程)と後期課程(中学校課程)が一緒に学習

！ 学校行事を合同で実施

- 前期課程の子どもが後期課程の先輩の姿を見て明確な目標を持つ
- 後期課程の子どもが前期課程の子どもを見て初心に戻ったり、癒されたりする

！ 日課の工夫

前期課程から後期課程へスムーズに移行することにより中1ギャップの解消

前期課程(小学校課程)と後期課程(中学校課程)の教員の連携

！ 教科担任制の実施

教科担任制や前期課程と後期課程の乗入授業を実施することで専門性を活かす

！ 情報交換できる環境

前期課程と後期課程の教員が一つの職員室にいる

みさとの丘学園の特色ある教育課程

9年間の系統性・連続性に配慮したカリキュラムによる教育の推進

指導及び子どもたちの
成長の一貫性

具体的思考から
抽象的思考へ

小中一貫教科

美里創造学習

- 美里地域の自然・歴史・文化・産業について学ぶ
- 反差別の視点で仲間と共に考え、行動できる力をつける人権学習



外国語活動

- 小学校1年生から9年間一貫した英語教育を実施し、ふるさと美里を誇り、英語で発信できる表現力を育成
- グローバルな視点で行動できる人材育成

みさとの丘学園の
校歌の3番は英語詞

みさとの丘学園 校歌

作詞 鳴海 康平 (なるみ こうへい)

作曲 村治 聖子 (むらじ せいこ)

英語詞 Edward Scruggs (エドワード スクラグス)

英語詞は、現在お子様が美里中学校に通学しているEdward Scruggsさんが作詞

1 みどり も きょうがみね
緑 萌える経ヶ峰

ひ うつ かわも
陽を映しきらめく川面

きび やさ さと いだ
厳しく優しい郷に抱かれ

おか さ はな
みさとの丘に咲く花

むね たいよう
この胸には太陽を

うつく こころ た
美しく心立つ

まな みち ある
学びあい倫を歩く

なみだ えがお あす て
涙も笑顔も明日を照らす

わたし かがや ひかり
私は輝くいのちの光

2 あかね さ しろ はね
茜射す白い羽

なが ひろ い せ うみ
永く広がる伊勢の海

ゆうき そそ きぼう そだ
勇気を注ぎ希望を育て

おか さ はな
みさとの丘に咲く花

ゆめ やさ
この夢には優しさを

たか
しあわせを高らかに

たす じぶん みが
助けあい自分を磨く

つよ よわ あい
強さも弱さもすべて愛そう

わたし かがや ひかり
私は輝くいのちの光

3 Always so lovely, Kyogamine
Sunshine, happy when we see.
Firm but gentle, this village where I grew.
Misato my hometown, I love you.

In my heart, your sunshine glows.
Bright light and beauty grows.
Walking, hands held, always learning,
On we go.
Tears flow we know, smiles always
Come back around.
We are sunlight,
Misato my hometown.

小中一貫教育における「新たな英語力」の育成

週2回の朝の時間帯に

英語タイム **短時間学習10分** を実施し、年間時間を確保

ホップステージ
第1・2学年

年間12～15時間程度
フォニックス(音とつづり字の一致)、
チャンツ(音に合わせた発音練習)、絵本

ホップステージ
第3・4学年

年間35時間
身近な話題についての表現力育成

ステップステージ
第5・6学年

年間70時間
「読む」、「書く」指導の強化

ジャンプステージ
第7～9学年

年間140時間
身近な話題についての表現力育成

現行の学習指導要領
1年あたりの外国語学習時間

小学校

第1～4学年… 0時間
第5～6学年… 35時間

中学校

第1～3学年… 140時間



みさとの丘学園へのスクールバスの運行

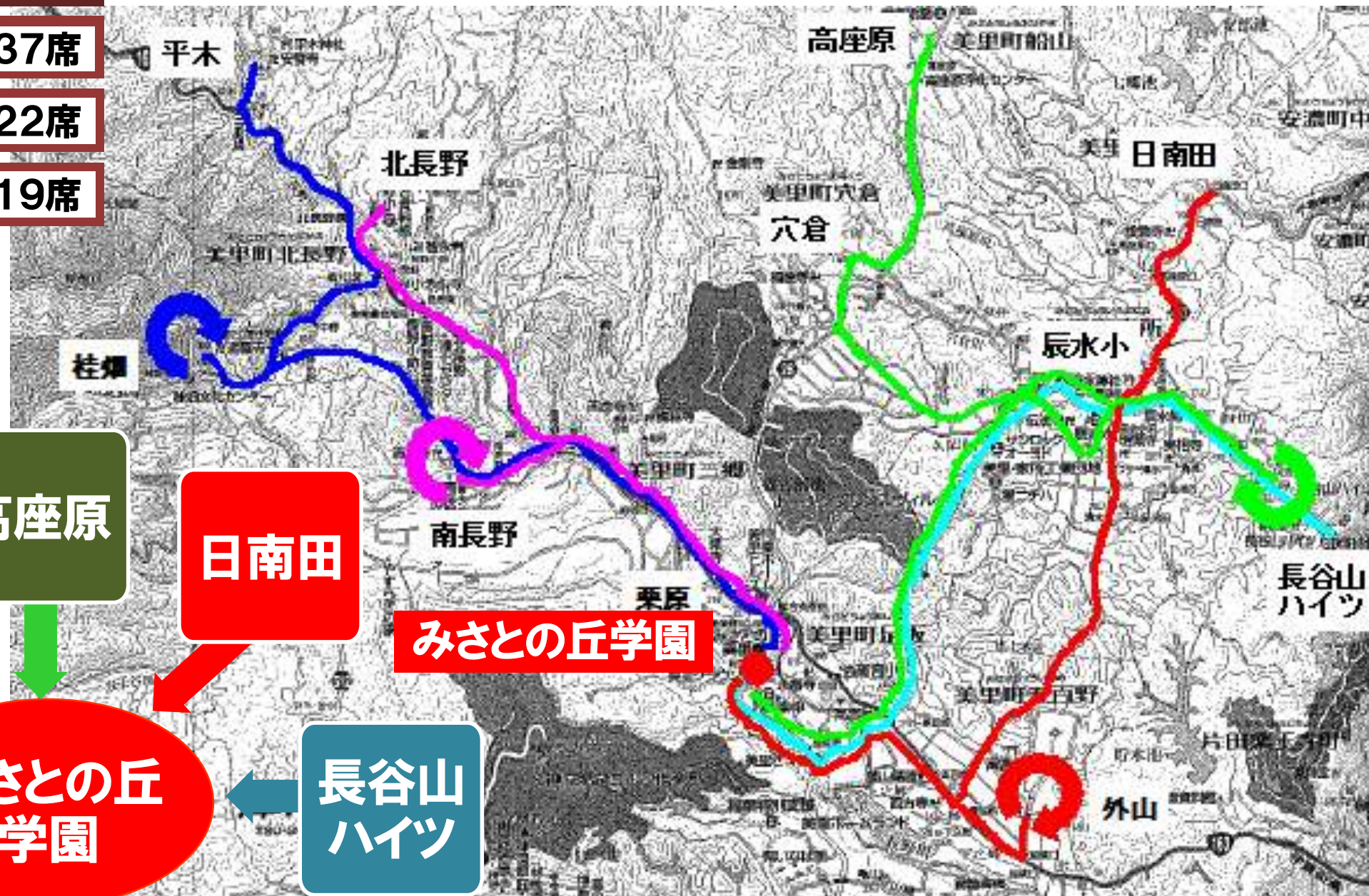
5ルートによる運行

運行車両 5台

中型バス2台 37席

マイクロバスロング1台 22席

マイクロバスショート2台 19席



北長野

高座原

日南田

みさとの丘学園

平木

みさとの丘
学園

長谷山
ハイツ

登下校体験・スクールバス乗車体験

児童全員(徒歩通学者・バス通学者)を対象とした登下校体験
及び保護者を対象としたスクールバス乗車体験を開催

8時頃に美里中学校に到着

児童全員対象(徒歩通学者・バス通学者)

開催日 3月8日(水)

その他 登校体験後に、児童全員による校歌の練習

保護者対象(希望者のみ)

開催日 3月12日(日)

その他 乗車体験後に、スクールバスのお披露目式を開催

スクールバスのお披露目式

日時

平成29年3月12日(日) 8時50分～

場所

美里中学校
※雨天時は、ランチルーム

出席者

株式会社百五銀行 代表取締役会長 上田 豪
津市長 前葉泰幸

内容

感謝状の贈呈

(株)百五銀行からの寄附金を活用し、スクールバスを5台購入

閉校式・開校式

美里地域小中学校 閉校式

開催日 平成29年3月25日(土)

時間

- 長野小学校 10時45分から(9時から閉校記念行事を実施)
- 高宮小学校 9時45分から
- 辰水小学校 8時45分から
- 美里中学校 13時30分から

場所

各小中学校体育館

みさとの丘学園 開校式

日時

平成29年4月6日(木) 9時10分から

場所

みさとの丘学園(現美里中学校)体育館

その他

開校式に続き、始業式を実施(入学式は4月7日(金)9時30分から)

平成29年4月1日スタート

津市共同汚水処理施設事業



平成29年3月1日

事業の経緯

平成24年8月 生活排水処理アクションプログラムの見直し

平成25年3月

公共下水道計画区域の変更
(下水道事業の効率化、持続可能な下水道事業)

下水道計画区域の縮小 9,031.5ha → 7,334.7ha

公共下水道計画の区域外となった団地(9団地)

殿舟団地、ピュアタウン、豊が丘団地、善応寺団地、
青葉台、片田団地、長谷山ハイツ、泉ヶ丘団地、
緑が丘団地(グリーンヒル久居)

団地で管理している汚水処理施設の維持管理

公共下水道計画区域から外れた地域

団地の管理組合からの申請

一定の基準を条件に整備した後
施設や機械設備等を市へ帰属

公共下水道と同額の使用料

公共下水道と同等の条件に揃え
適正な維持管理を市が実施

使用料金についても、下水道料金と同等とすることから、
下水道と同等の公共サービスを受けることになる

帰属の条件

①

平時より適正な維持管理が行われ、施設の構造物、設備等が不具合なく稼働していること

②

機能診断調査に基づく施設設備の改修を行うこと

③

宅地内の排水設備は調査を行い誤接続等がなく雨水の流入がないこと

④

宅地内の配管図を作成し市に提出

⑤

処理施設、ポンプ施設等の用地を津市に無償で帰属

共同汚水処理施設事業の対象団地の状況

平成29年2月現在

団地名	処理場の場所	世帯数	帰属予定時期
殿舟団地	津市小舟地内	500戸	平成29年4月1日
ピュアタウン	津市安濃町妙法寺地内	130戸	平成29年4月1日
豊が丘団地	津市豊ヶ丘地内	2,300戸	平成30年4月1日予定
善応寺団地	津市庄田町地内	90戸	平成30年4月1日予定
青葉台	津市青葉台地内	310戸	
片田団地	津市片田新町地内	920戸	
泉ヶ丘団地	津市野田地内	860戸	
緑が丘団地	津市久居緑が丘町地内	530戸	
長谷山ハイツ	津市美里町家所地内	130戸	平成31年4月以降予定

長谷山ハイツは平成13年度に移管されており既に市が管理中(帰属条件調整後に共同汚水処理施設事業会計に統合する予定)

今回帰属となる団地のこれまでの経緯

共同汚水処理施設事業の内容説明と協議を開始(対象全地区)

団地の管理組合等との協議が整い、帰属の申出書が提出される

殿舟団地

平成27年2月4日
覚書を交換

覚書に基づく整備(誤接続・施設の改修)実施

ピュアタウン

平成27年9月29日
覚書を交換

津市

- 覚書の交換
- 誤接続や施設修繕の完了確認
- 事業創設に関する条例等の制定

協定書の締結【平成29年3月下旬予定】

平成29年4月1日から市が維持管理を開始

津市共同汚水処理施設事業特別会計を創設し、維持管理費として46,901千円を計上

平成29年度に帰属となる団地

殿舟団地

	計画面積	22.9 ha
処理場	施設完了年度	昭和48年
	計画処理人口	2,300人
	処理方式	長時間曝気方式



ピュアタウン

	計画面積	7.1 ha
処理場	施設完了年度	昭和60年
	計画処理人口	870人
	処理方式	長時間曝気方式



平成30年度に帰属予定の団地

豊が丘団地

	計画面積	94.6 ha
処理場	施設完了年度	昭和51年
	計画処理人口	16,000人
	処理方式	標準活性汚泥方式



善応寺団地

	計画面積	3.5 ha
処理場	施設完了年度	昭和51年
	計画処理人口	400人
	処理方式	長時間曝気方式

